

ディボーション質問表



今週の25～27章は、「地の果て（使徒1：8）までの宣教」（13～28章）の中の、パウロの「ローマへの旅」（22～28章）の一部です。場所では区別すると、23：33～26章がカイザリヤ、27～28章がローマです。

26日（月）使徒の働き 25：1～12節 総督の決定

1. 23：33節でカイザリヤに連れて来られたパウロは、25章の時点で約2年が経過しています（24：27節）。彼は主から「ローマでもあかしをしなければならない」（23：11節）と言われていました。どんな思いで過ごしたと思いますか？
2. 2年経ってもまだパウロを殺害しようとしている祭司長たちの姿をどう思いますか？何が彼らの行動のエネルギーになっていたと思いますか？
3. ユダヤ人に恩を売ろうとするペリクス（24：27節）、歓心を買おうとするフェスト（25：9節）を通してパウロのローマ行きが決定します（12節）。このような神のなさり方をどう思いますか？（パウロがカイザリヤに上訴する〔11節〕事が出来たのは、ローマの市民権〔22：25節〕を持っていた為です。）

27日（火）使徒の働き 25：13～27節 フェストとアグリッパ

1. フェストはこの箇所でも何度も、パウロはローマの法廷に訴えられるような事は何もしていないと言っています。それにも係わらず解放しない彼の姿をどう思いますか？
2. パウロは、今度はアグリッパ王の前に連れ出されます（23節）。彼はこのような形で9：15節言われている主の約束を体験しています。ここにも、「人の心に思い浮かんだことのないもの。」（1コリント2：9節）を与えて下さる主の御業を見る事が出来ます。この主は私たちにも同じようにして下さいませ。

28日（水）使徒の働き 26：1～23節 パウロの弁明

1. 2～11節で、パウロは救われる前の自分の歩みについて語っています。彼が話している内容をまとめてみましょう。
2. 12～18節では、パウロがイエス様と出会った時の体験が書かれています。彼の救いの経験はどのようなものだったでしょうか？自分と共通する事が何かありますか？
3. 19～23節は救われた後のパウロの歩みについて語っています。キリストに出会う前のパウロはどのように変えられましたか？また救われる前からもっていたもので生かされているものは何かあるでしょうか？

29日（木）使徒の働き 26：24～32節 王と総督の反応

1. パウロの弁明を聞いたフェストとアグリッパの反応が書かれています。彼らはどのような反応をしていますか？彼らの反応を見てどう思いますか？
2. 彼らの反応に対して、パウロが語っている言葉を味わってみましょう。彼の言葉から、彼のどのような思いが伝わってきますか？

30日（金）使徒の働き 27：1～26節 嵐に遭うパウロたち

1. 一行が困難に直面し始めたとき、パウロはどんな警告をしましたか（1～10節）？
2. パウロの警告を聞き流した結果、何が起こりましたか（11～21節）？
3. パウロと一行が大きな危険に直面したとき、神様はどうされましたか（22～26節）？

1日（土）使徒の働き 27：27～44節 難破するパウロたち

1. 27節には「14日目の夜」とあります。主から24節の約束を与えられてからも、数日間状況は変わらなかったようです。パウロたちはどのような思いでこの間を過ごしたと思いますか？
2. 39節以降、パウロたちが乗った船が座礁し、マルタ島に上陸して助かるところまでのいきさつが書かれています。この出来事の中に働かれている主の御手を探してみましょう。